

第7回受賞 平成29年(2017年)

受賞テーマ

「バイオ医薬品Lenograstim(遺伝子組換え型ヒト天然型G-CSF)の研究・臨床展開によるがん・白血病治療成績の向上」

＜所属・職位は受賞当時＞

＜代表者＞ 浅野 茂隆 (早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 招聘研究教授)



第7回受賞研究テーマ『バイオ医薬品Lenograstim(遺伝子組換え型ヒト天然型G-CSF)の開発研究・臨床展開によるがん・白血病治療成績の向上』に関する研究成果において、がん患者の抗癌剤や放射線による治療などが原因となっておこる白血球の減少において、好中球を特異的に増加させ、治療中の患者さんの感染防御能を維持させる医薬品の創薬につながりました。

浅野先生は、東京大学在任中に当受賞研究やがん遺伝子治療臨床試験など、我が国の橋渡し研究の先駆けとなる業績を残されました。さらに、公的骨髄バンクや臍帯血バンク設立とその普及への尽力を通じて、我が国の造血幹細胞移植医療と血液事業の推進にも多大な貢献をされ、2017年に瑞宝小綬章を受賞されています。

(浅野先生は2020年8月に逝去されました)